

特別委員会から市長に意見書を提出しました

市民会館及び市民体育館再整備等特別委員会は全議員 14 人で構成され、令和 2 年 12 月に設置されてから、令和 3 年 7 月までに計 4 回の協議を行ってきました。

志木市民会館及び志木市民体育館再整備基本計画の素案が完成し、これから具現化していく中において、多様な世代のニーズに対応した、まちの魅力を高めるより良い施設となるべく、当委員会としての考え方をとりまとめ、基本計画や今後の実施設計等において、反映をしていただきたく、意見書を香川武文志木市長に提出しましたので、その概要をご紹介します。

基本計画全体について

- 敷地内の駐車場・駐輪場は可能な限り確保するとともに、民地の駐車場としての可能性も検討すること。併せて、柳瀬川駅からのバスの増便についても検討すること。
- 設計候補者の選定は公開で行うこと。
- 市民会館用地周辺は通学路であり、道路も狭隘^{きょうあい}であることから、工事期間も含め安全面には十分配慮すること。
- フォーシーズンズ志木 8 階を活用する場合、駅前の駐車場は市民会館と比較すると料金に差があることから、料金設定について検討するとともに、会議室の利用料金は公民館並みに検討すること。
- 武道館についての記載が不明瞭であることから、廃止するのであれば、明確に示すこと。
- 新庁舎と連携を図りながら、災害時の拠点施設となるよう、志木市地域防災計画との整合性を図ること。

諸室等について

- 弓道場は、現状の広さを確保し、出入口を分けるとともに、巻藁室の設置や矢取り道に屋根を付けることを検討すること。
- キッズスペースの確保や屋上公園、ルーフバルコニーの設置など、子どもの居場所づくりを検討すること。
- メインアリーナやサブアリーナにおいて、フットサルができるようネットの設置を検討すること。
- アリーナの観客席又は屋外の建物の屋根下でランニングや短距離走ができるよう検討すること。
- ホールに設置する可動式の座席については、音の反射がしないようにするとともに、歩行時に音が出ないような座席となるよう検討すること。
- ホールとアリーナを同時に使用する際は、それぞれの機能が独立して使用できるよう配慮すること。
- トレーニングルームは、障がい者も含め誰もが気軽に健康・体力づくりができるような場所とすること。
- キッチンカー等を誘致する場合は、市ホームページで公開するなど、広く告知し、多くの業者が参加できるようにすること。

●市議会ホームページにて、意見書の全文及び特別委員会の会議録を公開しています。
下記 QR コードからアクセスしてください



◀市民会館及び市民体育館再整備等特別委員会についてはこちら



▲令和 3 年 7 月 21 日に意見書を提出しました。

左から安藤議長、今村副委員長、河野委員長、香川市長、櫻井副市長